

1 単元 PROGRAM 4 Recycling Activities

2 単元の目標

- (1) 言語活動に積極的に参加し、相手とコミュニケーションをとろうとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 疑問詞 what を用いて何をするかたずねたり、複数形や How many の表現を用いて数について説明したりできる。(外国語表現の能力)
- (3) 本文の内容を理解し、リサイクル等の活動について考えることができる。(外国語理解の能力)
- (4) 疑問詞 what と数に関する問答の用法を理解し、運用している。
(言語や文化についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 教材観

この単元では、リサイクル活動を取り上げながら、言語材料として What で始まる疑問文、複数形、数をたずねる言い方 (How many) という表現を学んでいく。それにより、生徒は、日常での行動についてたずねたり、英語における複数形の概念を理解し、自己の表現に学んだ表現を生かしたりたりすることができるようになっていく。

(2) 生徒の実態 (男子*人 女子*人 計*人)

生徒は、意欲的に授業に取り組んでおり、全体での発声やペアワーク・グループワークにも積極的に取り組んでいる。意欲的に取り組んでいる姿がありながら、一方では、アルファベットがいまだに習得できていない生徒や授業の流れについていけない生徒もいる。分からないことを聞いたり、間違ったりすることをお互いに受け入れる雰囲気があり、積極的に言語活動に取り組む良い姿勢を今後も伸ばしつつ、習得させることはきちんと習得できる授業づくりを行っていききたい。

(3) 指導観

今年度の授業づくりのテーマを「定着を見据えた学習活動 ー 帯活動の充実を通してー」と設定した。上記に述べた実態を受けて、本校でこれまで実践してきた「My Plan」という副教材を用いて、帯活動と言語活動の充実を図っていききたい。その中で、生徒が「できた」と実感できる場面をつくるとともに、基礎・基本の定着を見据えた帯活動を行っていききたい。また、授業中に分からない部分を教えあうペアをもとに座席を決めている。これにより、ちょっとしたつまづきをペア同士の関わり合いによって少しでもなくしていききたいと思っている。

4 指導計画 (8時間扱い)

時	学 習 活 動	関	表	理	言	評 価 計 画
						評 価 規 準
1	・ガイダンス及び一般動詞の復習				○	本課の学習の見通しをもつ (復習)
2	・What の疑問詞を用いた言語活動	◎	○			何をするのかたずねることができる
3	・p. 39 の本文理解等			◎	○	p. 39 本文の内容が理解できる
4【本時】	・複数形を意識して対話	◎	△		○	複数形を運用することができる
5	・p. 41 の本文理解等			◎	○	p. 41 本文の内容が理解できる
6	・How many を用いた言語活動	◎	○			How many で数をたずねることができる
7	・p. 43 の本文理解等			◎	○	p. 43 本文の内容が理解できる
8	・本課のまとめ (振り返り)		○		◎	既習事項を用いて、英作文ができる

5 本時の指導

(1) 目標

- ・言語活動に積極的に参加し、コミュニケーションをとろうとしている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・名詞の複数形の表現を理解し、運用することができる。(言語や文化についての知識・理解)

(2) 準備・資料

My Plan (自作補助教材), ワークシート, 生徒提示用ピクチャーカード, 学習カルテ

(3) 展開

学習内容・活動	指導上の留意点 (〇は個への配慮)・評価
<p>1 My Plan (副教材) を用いてウォームアップ、帯活動を行う。</p> <p>(1) LET' S TALK (2) THE CHANTS (3) SUPER INPUT (4) WRITING TEST (5) SPEED WRITING</p> <p>2 本時の学習内容を確認する。 2つ以上の人(もの)について、言えるようにしよう。 本時の学習内容を、学習カルテに書く。</p> <p>3 オーラルイントロダクションを聞く。 Hi, Friends! (小学校外国語活動教科書) を用いて (デジタル教科書), 本日の内容を導入する。 a grape, two apples, three strawberries</p> <p>4 言語活動「買い物しよう」を行う。 (1) 活動の説明を聞き、教師のデモンストレーションを見て確認する。 (2) メニューリストの発音練習を行う。 (3) ペアとなり、店員と客の役割分担を決めて、対話を行う。 (4) グループ内の人と同様に対話を行う。 (5) いくつかのペアは、対話文を披露する。</p> <p>5 言語活動をもとに、ワークシートの問題演習を行う。 (1) 各自で複数形を確認しながらワークシートに記入し、ペアで確認する。 (2) 全体で解答を確認する。</p> <p>6 本時のまとめを行う。</p> <p>7 学習カルテの記入を行う</p>	<p>・短い時間でテンポよく、できるだけ多くの英語を話すようにタイマーを用いて指導する。 〇活動が滞っているペアには、机間指導を行い、ペア活動を支援し、自信をもたせる。</p> <p>・複数形の用法を確認する中で、音の違いに注意させたい。</p> <p>・イラストを用いて、表現の導入を行い、生徒とのインタラクションの中から複数形概念を導きだしたい。 ・何種類かの例文を提示しつつ、口頭でのパターンプラクティスへと入っていく。</p> <p>〇ペア(グループ)活動ができない生徒については、ペア(リーダー)とのかかわりの中で活動を進められるよう支援する。 〇早く活動が終わった生徒は、ワークシートの裏面にとりかかり、「書く活動」へ入るよう指示する。 ・日本語は使わず、モデルの会話を参考に英語でやり取りするよう指示し、机間指導する。</p> <div data-bbox="821 1585 1444 1697" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(評) 言語活動に積極的に参加し、コミュニケーションで対話を行おうとしていたか。 (ワークシート・観察)</p> </div> <div data-bbox="821 1697 1444 1776" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(評) 複数形を理解し、適切に運用することができる。(発表・ワークシート・観察)</p> </div> <p>・複数形の用法について、生徒の理解を確認しながら、モニターや黒板を用いてまとめる。</p> <p>・本時の自己の取組を振り返り、次時への意識の継続を促す。</p>